

環境防災課

海の生物や自然を守る環境保全を  
町 県などと協働でプラスチックごみゼロに取り組んでいる



中川 ゆかり 議員

トホーム」を設立し取り組んでいる。

議員  
環境保全として、有効なアマモであるが現在の状況は。

環境防災課長  
アマモは、海藻の一種であり、海水の浄化作用や小魚の住処(か)にもなる。本町では、横浜海岸・鯛尾海岸・小屋浦地区の比較的浅い所に生息している。

議員  
海の生物や環境を守り伝えるため、今後、アマモ場の人工造成の計画は。

環境防災課長  
アマモ場の人工造成は、町独自では、場所の選定や予算的な問題もあり難しい。県とも相談したが、今のところ予定がないとのこと。



アマモの植生で海を守ろう

課 課  
生 務  
民 総 生涯学 習 課

オストメイト対応トイレと男性用サニタリーボックスの設置を  
町 男性用トイレへの設置は今後検討する



光岡 美里 議員

公共施設のすべての多目的トイレに、オストメイト対応トイレの設置を。

町長  
まずは、多目的トイレ内に、新たに大きめのサニタリーボックスを設置し、男性にも必要に応じて、使用できると、掲示物などで分かりやすく明示していく。

議員  
サニタリーボックスの設置は、膀胱がん・前立腺がんの術後の方などにも必要とされていることから、公共施設への設置は。

民生課長  
各種計画を立てる際の当事者アンケート調査に盛り込むなどして、ニーズがあるようなら設置を検討していく。

議員  
男性用トイレへのサニタリーボックスの設置については、利用者の声を聞きながら対応することであるが、具体的な方法は。



増やしてほしいオストメイト対応トイレ

町長  
現在、町内の公共施設では、町民センター・サンスターホール・小屋浦ふれあいセンターの3カ所にオストメイト対応トイレを設置している。今年度中に、図書館と海洋センターの2カ所に設置する予定である。

産業建設課  
企画財政課

坂町ブランド特産品の町ぐるみの開発は  
町 関係団体と議論し方向性を決めていく



奥村 富士雄 議員

特産品の町内外業者への開発委託の進捗状況は。

議員  
特産品開発は、住民・学生・商工業者・水産業者などの町ぐるみで、企画・開発・製造・販売などを行うってはどうか。

町長

特産品開発は、町内の商工業者、水産業者などの関係団体の積極的関与が重要で、今後関係団体と議論していく。強力なリーダーとして

議員  
生産拠点として町内の空き家を活用し、高齢者などで取り組んではどうか。

町長

地域で経験を持つ人の力を借り、生業となる環境づくりが重要と考える。先進事例を勉強し、町の文化にあう形を一緒に構築できればと考える。



町ぐるみでブランド特産品の開発を

保険健康課

高齢者活動参加にポイント制の導入を  
町 ニーズ調査で計画的に各種施策を実施

柚木 喬 議員

高齢者ポイント制は広島市から府中町、海田町が順次導入している。坂町での未実施は高齢者施策を考えていないのでは。

議員  
百歳体操参加者のマンネリ化、全町への浸透にポイント制が必要では。

町長

いきいき百歳体操は、自らの健康増進、認知症予防につながることで、各地区で自主的に始められた。未実施地区には、地域包括支援センターとともに、継続的に啓発していく。

議員  
近隣が実施しているのに、坂町だけが未実施、連携を図ることは。

保険健康課長

ポイント制を利用できる人だけのこと考えるのではなく、全体的に考えていくことが必要である。

町長

高齢者施策は、ニーズ調査により各種施策を計画的に実施している。町民と行政が役割分担を行い、公助に頼るだけでなく、自助・互助・共助による地域共生社会を目指す中で、高齢者施策を進めていく。



いきいき百歳体操でポイントがあるといいね